## 内閣府と共催で防災訓練を実施

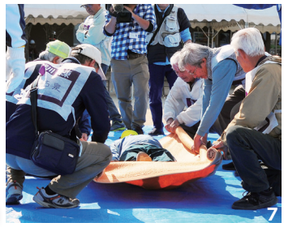
平成 30 年度地震・津波防災訓練

「平成 30 年度地震・津波防災訓練」は 11 月 7 日、松前公園とエミフル MASAKI で行われ、各地区の自主防災組織、松前校区老人クラブや保育所から約 500 人が参加しました。

この訓練は、11 月 5 日の「津波防災の日」にちなみ、内閣府と町が共催したもの。南海トラフ巨大地震の発生を想定し、シェイクアウト訓練、津波避難訓練、各ブースに分かれた体験型訓練、自衛隊の炊き出し訓練や東日本大震災被災者による講演会などさまざまな訓練を実施しました。

参加した人たちは、実際に避難行動をとったり各種訓練を体験したりしながら、防災への意識を高めていました。

1、2_ シェイクアウト訓練。安全確保行動をとる　3_ 火災発生。お友達と口元を押さえて避難　4_ 屋上への避難完了　5_ 消火訓練。ほうきで掃くように火元に近づく　6_ 煙体験。姿勢を低くして進む　7_ 毛布と竹で担架を作る　8、9_ 自衛隊による炊き出し訓練。参加者にカレーが振る舞われた



**出作自主防災会**
**秋山和恵** さん

今回の訓練で感じたことは、実際の災害時には想定外のことがたくさん起こるだろうということです。災害の種類によってとるべき行動は変わるので、自分で情報を収集して備えなければと思いました。

**内閣府**
**西村徹** さん

同訓練は全国 10 カ所で行いました。松前町のように大型商業施設と協力して実施した自治体は他にありません。上手くコラボレーションできていたので、今後も地域の実情に合わせた訓練を重ねていくことが大切です。





## 中小企業の未来を考える

中小企業振興検討会議

「中小企業振興検討会議」は 11 月1日、文化センターで行われ、町内企業の若手経営者など 31 名が参加しました。

この会議は、地域経済を支える中小企業に携わる人たちと町が、課題の共有や意見交換をしようと開催されたもの。参加者は、人材確保での苦労や企業連携の展望などの意見を活発に交わしていました。

本年度残り 2 回開催し、中小企業を活性化させる方法について検討していきます。

㊤会の後も名刺交換で情報共有
㊦活発な意見交換がされた会議

＊瑞宝双光章【財務行政事務功労】
かわもと・あきら
**川本　明さん**
元大蔵事務官　88 歳　筒井

## 川本明さんに瑞宝双光章

平成 30 年高齢者叙勲

政府が 10 月 1 日付けで発表した「高齢者叙勲」で、本町から元大蔵事務官の川本明さん＝筒井＝が受章しました。

川本さんは、昭和 26 年に四国財務局松山財務部に入官後、金融機関や証券会社の検査・監督や国有財産の管理・処分を行うなど、地域の健全な経済活動のために尽力。その後四国財務局で主計課長、監察官を歴任し、昭和61年に退官しました。

川本さんは受章に際し、「まさかこの歳で受章するとは思っていなかった。ありがたいことです」と話していました。

## 地域の特徴から防災を考える

住民向け災害図上訓練DIG（風水害版）

「住民向け災害図上訓練 DIG（風水害版）」は 10 月 21 日、役場で行われ、自主防災会と消防団から約 60 人が参加しました。

「災害図上訓練 DIG」とは「Disaster（災害）」、「Imagination（想像力）」、「Game（ゲーム）」の頭文字をとったもので、地図への書き込みや付箋貼りをしながら、地区の特性を踏まえた防災についてみんなで考える訓練のことです。

講師を務めた消防防災科学センター図上訓練指導員の植山利昭さんは、地域で共通認識を持ち、日ごろから災害に備えておくことや命を守る行動の大切さを訴えていました。

訓練後、恵久美地区の発表では、「住民の危機感がない」ことを特徴に挙げ、逃げ遅れによる孤立を懸念。発表者は、「事前対策として必要なのは、住民の防災意識の向上だ」と話していました。

㊧川や道路にマーカーを引くなどして地域の特徴を再確認　㊨グループで話し合った内容を発表　㊦積極的に意見を交わしながら災害対策について考える

## 地域の環境リーダー誕生
子ども環境学園 2018　修了式

「子ども環境学園 2018」の修了式は 10 月 20 日、文化センターで行われ、町内の小中学生が参加しました。

修了式の前には、県内で唯一山のない松前町で森林への理解を深めてもらおうと、農林中央金庫と県森林組合連合会による講義や木材を使った工作体験を実施。参加した子どもたちはクイズなどを通して楽しく学んでいました。

今年は 35 名の受講生が修了。今後は、地域の環境リーダーとして活躍していきます。

㊤修了式後の記念撮影　㊦工作したベンチは後日エミフルへ寄贈

## 落花生を町の特産品に
無農薬でおいしい野菜

満田泰三さん＝新立＝は 11 月 7 日、役場を訪れ、落花生を町の特産品にしたいと岡本町長に申し入れました。

この落花生は、満田さんの所有する畑で作られたもの。1 粒植えると収穫時には 200 粒以上になり、栽培にも手が掛からないといいます。

満田さんは、「数年前、落花生は栄養満点で毎日食べると健康長寿になれると聞いて栽培を始めました。みんなで作って町の特産品になればうれしい」と話していました。

㊧栽培した落花生を手にほほ笑む満田さんと岡本町長　㊨畑で収穫する満田さん

## 松前町の農水商工の恵みが集結
第 6 回松前町産業まつり「たわわ祭」

第 6 回松前町産業まつり「たわわ祭」は 11 月 10、11 の両日、まさき村店舗前駐車場で開催しました。

会場では、松前町の特産品を販売したほか、町内企業が誇る技術を展示。さらに、姉妹都市の北海道松前（まつまえ）町から石山町長ら 4 人が来町し、海の幸などを販売しました。またステージには、エミフルズ、STU48 やレーモンド松屋などが登場し、来場した延べ 2 万 4,500 人を楽しませました。

1、2_ オープニングの餅まき　3_ お餅をどうぞ 4、5_ 会場においしそうな匂いが漂う　6_ ゆるキャラとじゃんけん大会　7_ 海の幸を試食　8～10_「おいしい」の笑顔がいっぱい　11_ 買い物客でにぎわう　12、13_ ステージパフォーマンス。観客も一緒に楽しむ　14_ レーモンド松屋コンサート。「まさき色の風」を熱唱　15_ たくさんの観客が熱狂

## ホッケー全国大会出場
第 19 回全日本中学生都道府県対抗ホッケー選手権大会

松前ホッケークラブの選手 13 人と監督は 11 月 9 日、役場を訪問し、県の代表として「第 19 回全日本中学生都道府県対抗ホッケー選手権大会」に出場することを報告しました。

岡本町長から「強いチームと当たっても、相手の良いところを学んで帰ってきてください」と激励を受け、主将の藤田結（ゆう）心（しん）さん＝北黒田＝は、「3 年生最後の公式戦です。町・県の代表として恥じない戦いをしてきます」と意気込んでいました。

## 自然の恵みに感謝して
青葉幼稚園「おにぎり大会」

青葉幼稚園の園児と松前町生活研究グループ連絡協議会の皆さんは 11 月 2 日、「おにぎり大会」を楽しみました。

大会では、徳丸農業区の皆さんと収穫した新米をおにぎりにし、町の特産「はだか麦」入りのすいとんを調理。はだか麦の感触を確かめながらお手伝いをした園児たちは、「みんなで作ったお米おいしい」、「すいとんの野菜もいっぱい食べる」と口いっぱいに頬張っていました。

## 芸術の秋を楽しむ
第 43 回まさき文化祭

「第 43 回まさき文化祭」は 10 月 27、28 の両日、文化センターを主会場に開催されました。

文化祭では、延べ約 3,500 人が出演した芸能発表会をはじめ、生け花や絵画など約 400 点の作品を展示。訪れた人たちは、作品を見たり体験したりしながら芸術の秋を楽しんでいました。

また、27 日には「福祉ふれあいフェア」が同時開催。健康コーナーや交通安全コーナーなどさまざまなコーナーが設けられ、たくさんの人が笑顔で楽しんでいました。

1_ 会場に並んだ作品の数々　2_ 迫力ある義農太鼓　3_ 緊張の初舞台　4_ 白バイに乗って記念撮影　5_ 力作をじっくり鑑賞　6_ ゲームを楽しむ　7、8_ 教えてもらいながら作品づくり　9_ 青空の下でフリーマーケット

### 偉大な功績を紙芝居に

鶴吉出身の三原照代さんは 10 月 26 日、紙芝居「松山城のお濠と岡井藤志郎」を町に寄贈しました。

この紙芝居は、戦後松山城の堀の埋め立て計画反対運動の先頭に立ち、堀を守った岡井藤志郎の功績をたたえ、後世に伝えようと制作されたもの。文化祭で、三原さんによる読み聞かせが行われ、たくさんの人が耳を傾けていました。

この紙芝居は、町のライブラリーで見ることができます。





## チャリティー公演を開催
茂弥教室　第 38 回民踊新舞踊おさらい会

茂弥教室が主催した「第 38 回民踊新舞踊おさらい会」は 11 月 4 日、文化センターで行われ約 150 人が日ごろの練習の成果を披露しました。

西日本豪雨チャリティー公演として行われた同会では、町のイメージソング「まさき色の風」に合わせた踊りも披露され、幅広い年齢の出演者たちが華麗な舞で観客を楽しませていました。当日会場で集まった 171,782 円の義援金は、町を通じて被災地に送られます。

## 義農作兵衛の魅力に迫る
文化センター開館 30 周年記念文化講演会

「文化センター開館 30 周年記念文化講演会」は 11 月 11 日、文化センターで行われ、町民ら約 50 人が参加しました。

講演会では、「義農スピリット」の著者で松前史談会の早川かずしさんが講師を務め、「松前に根付く義農スピリット」という演題で講演。町外の人にはあまり知られていない義農作兵衛が、戦前は小学校の教科書に載るほど全国的な偉人であったことなどを紹介し、その魅力を伝えました。参加した人たちは、早川さんから語られる興味深い話に聞き入っていました。

## 子どもたちが音楽で交流
2018 松前町音楽発表交歓会

「松前町音楽発表交歓会」は 11 月 7 日、文化センターで開催され、町立幼稚園、小・中学校、ひまわり少年少女合唱団、伊予高等学校吹奏楽部の皆さんが参加しました。

交歓会は、松前・古城幼稚園児の元気いっぱいの歌と合奏でスタートし、各小中学校の出演者が、息の合ったハーモニーや合奏を披露。手拍子や振り付けを交え、会場に来た多くの人を楽しませました。その後、伊予高等学校吹奏楽部の皆さんがトリを飾り、計 3 曲を演奏。迫力ある演奏で会場を魅了しました。

各学校の発表が終わった後は、参加者と観客全員で「ふるさと」を合唱。子どもから大人まで、会場が一体となって音楽を楽しんでいました。

㊧力いっぱい歌う松前・古城幼稚園児たち
㊨伊予高校の吹奏楽。美しい音色で観客を魅了
㊦観客を盛り上げた松前小学校の金管バンド